

済生会横浜市東部病院 外科専門医研修プログラム概要

済生会横浜市東部病院外科の特徴

当院は、横浜東部地域の中核病院として平成 19 年に開院しました。平成 26 年 8 月に地域がん診療連携拠点病院、同年 10 月に横浜市重症外傷センターの指定を受けています。

- ① 外科(上部・下部消化管および肝・胆・膵の消化器疾患全般、ヘルニアなどを診療する一般外科)
消化器外科は消化器内科と連携し、「消化器センター」として診療を行い、多くの症例に携わっています。
- ② 乳腺外科
非常勤の形成外科医と協力し、人工物再建にも取り組んでいます。
- ③ 血管外科(末梢血管および腹部の大動脈疾患)
EVAR、血管内治療とバイパス手術を同時に施行するハイブリッド手術、透析用バスキュラーアクセスに関連する治療、静脈血栓塞栓症、急性動脈閉塞症など、その守備範囲は多岐にわたっています。
- ④ 呼吸器外科
従来の開胸手術に加え、VATS も多数行われています。
主に助手として手術に参加するが、外科専門医申請に必要な症例は十分経験することができます。
- ⑤ 小児外科
主に助手として手術に参加するが、外科専門医申請に必要な症例は十分経験することができます。
- ⑥ 救急科
当院外科のもう 1 つの柱が救急医療です。徒歩で来院する軽症から外傷などの重傷救命医療まで、救急医療全般が対象となります。なかでも重症外傷は当院の最も得意とする分野で、外傷外科を専門とする救急外科医から本邦最高レベルの指導を受けることができます。外傷のみならず急性腹症も救急外科で対応しているため、Acute Care Surgery 領域で非常に多くの症例が経験可能です。

総合病院であるため、併存疾患を持った症例が多く集まり、各科と密に連携し治療にあたっています。なお、研修に際しては、呼吸器外科・小児外科・救急外科も必修になります。

主な手術件数(2017.4-2018.3)は以下の通りです。

部位	件数	部位	件数
食道	28 (うち食道癌 24(うち腹腔鏡 18))	ヘルニア	127
胃・十二指腸	155 (うち胃癌 115(うち腹腔鏡 82))	その他(CV など)	162
小腸・虫垂	453	乳腺	178
直腸・結腸・肛門	303 (うち直腸・結腸癌 270(うち腹腔鏡 149))	腹部血管・末梢血管	428
肝・脾	61 (うち肝臓癌 52)	心臓血管	301
胆嚢	203 (うち腹腔鏡 153)	呼吸器	143
膵臓	30 (うち膵頭部十二指腸切除 17)	皮膚ほか	72
腹腔・腹膜他	93	小児外科	18

また、当院では手術支援ロボット;ダヴィンチでの胃癌手術、ハイブリッド手術室での血管手術・外傷手術 などを行っており、これらの最先端医療を研修することが可能です。

研修内容

当プログラムでの3年間の研修内容と予想される経験症例数を下記に示します。

- ・研修期間は3年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで期間を延長することになります（未修了）。
- ・期間内にカリキュラムの技能を習得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能教育を開始します。（於：済生会横浜市東部病院）
- ・基幹病院で3年間研修するプログラムを基本としますが、希望者は関連連携施設で1-2年目の研修をするプログラムを選択することも可能です。

1) 基幹病院 3 年間プログラム

診療科	研修機関	期間	症例数
一般外科／救急／消化器	済生会横浜市東部病院	2年6ヵ月	経験症例 900 例/3 年以上
血管／呼吸器／小児／乳腺	済生会神奈川県病院	6ヵ月	（術者 300 例/3 年以上）

1 年目	2 年目	3 年目
東部病院	東部病院	東部病院
済生会神奈川県病院		
(2 ヲ月/年)*		

2) 基幹病院 1～2 年間プログラム

診療科	研修機関	期間	症例数
一般外科／救急／消化器	関連連携施設	1～2年	200 例/年以上 （術者 50 例/年以上）
血管／呼吸器／小児／乳腺	済生会横浜市東部病院	残りの期間	300 例/年以上
	済生会神奈川県病院	うち 2 ヲ月	（術者 100 例/年以上）

例1) 関連施設1年

1 年目	2 年目	3 年目
関連連携施設	東部病院	東部病院
済生会神奈川県病院(2 ヲ月/年)*		

例2) 関連施設2年

1 年目	2 年目	3 年目
関連連携施設	関連連携施設	東部病院
		済生会神奈川県病院(2 ヲ月)*

* この期間にヘルニア手術・胆石手術・内視鏡などを主に修練します。

(サブスペシャリティ領域などの専門医連動コース)

研修の週間計画および年間計画：基幹施設（済生会横浜市東部病院）

月	火	水	木	金	土	日
		7:00-8:30 術前カンファレンス/ 放射線診断科合同 カンファレンス		7:45-8:45 消化器クラスター がんサージカルボード		
8:00-9:00 消化器センター長 カルテ回診						
8:00-9:00 病棟業務						
9:00- 手術・外来					10:00- 病棟回診	
			18:00- 術後カンファレンス /放射線診断科合同カンファレンス 抄読会・勉強会			

各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得

- 1) **症例検討会**: 医師および看護スタッフによる治療および管理方針を検討します。
専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聴くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。
- 2) **放射線診断科合同カンファレンス**: 手術症例を中心に放射線診断部とともに術前画像診断を検討します。術後症例については手術所見と術前画像診断を対比します。
- 3) **Cancer Board**: 複数の臓器に拡がる進行・再発症例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理科、放射線診断科、放射線治療科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。
- 4) **基幹施設と連携施設による症例検討会**: 各施設の専攻医や若手専門医により研修発表会を年に1回開催し、発表内容、スライド資料の良否、発表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。
- 5) 各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照すると共にインターネットなどによる情報検索を行います。
- 6) ウェットラボ、ドライラボや教育DVDなどを用いて積極的に手術手技を学びます。
- 7) 日本外科学会の学術集会（特に教育プログラム）、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施されるこれらの講習会などで下記の事項を学びます。
 - ・標準的医療および今後期待される先進的医療
 - ・医療倫理、医療安全、院内感染対策

研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

月	全体行事予定
4	・外科専門研修開始。専攻医および指導医に提出用資料の配布(済生会横浜市東部病院ホームページ)
5	・研修修了者:専門医認定審査申請・提出
8	・研修修了者:専門医認定審査(筆記試験)
2	・専攻医:研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成(年次報告)(書類は翌月に提出)
3	・その年度の研修修了 ・専攻医:その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 ・指導医・指導責任者:前年度の指導実施報告用紙の提出 ・研修プログラム管理委員会開催

本専門研修施設群では17名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

専門研修基幹病院

名称	都道府県	1:消化器外科、2:心臓血管外科、3:呼吸器外科、4:小児外科、5:乳腺外科、6:その他(救急含む)	1. 統括責任者名 2. 統括副責任者名
済生会横浜市東部病院	神奈川県	1、2、3、4、5、6	1. 江川 智久 2. 渋谷 慎太郎

専門研修連携施設

No.				連携施設担当者名
1	済生会神奈川県病院	神奈川県	1、2、3、5	長島 敦
2	東京都済生会中央病院	東京都	1、2、3、5	原田 裕久
3	済生会宇都宮病院	栃木県	1、2、3、5、6	篠崎 浩治
4	平塚市民病院	神奈川県	1、2、3、4、5、6	中川 基人
5	福岡新水巻病院	福岡県	1、5、6	多賀 聡
6	埼玉県済生会川口総合病院	埼玉県	1、2、5	根上 直樹